

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	パシフィックパワー株式会社 代表取締役 合津 美智子
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区神田錦町三丁目22番地 テラススクエア16階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none">・小売電気事業 弊社は、工場やオフィスビルといった大口需要家などへの電力小売事業を実施しています。・自治体と共同で地域新電力会社(自治体PPS)を設立し、地域活性化、地方創生を目的にした電力小売事業を展開する支援を実施しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	中央給電部	
	連絡先	電話番号	03-5244-5423
		ファクシミリ番号	03-3296-0543
		電子メールアドレス	contact@pacific-power.co.jp
公表の 担当部署	名称	中央給電部	
	連絡先	電話番号	03-5244-5423
		ファクシミリ番号	03-3296-0543
		電子メールアドレス	contact@pacific-power.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	http://pacific-power.co.jp/		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
		入手方法:			
	<input type="checkbox"/> その他				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.338	100%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.540	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

2016年より太陽光発電所より電源の調達をしており、今後も再生可能エネルギーによる発電所からの調達量を増やし、排出量の削減に努めます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	107	41.95%
(FIT電気)	-	-	107	41.95%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギーによる発電所からの調達量を増やします。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現在、未利用エネルギー等の電気の調達はしていません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を所有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・主に運用面での省エネルギー対策を、当社が電力供給する需要者にアドバイス、コンサルティングすることを検討中です。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・自治体の省エネ、エネルギーの効率利用を支援する事業を検討中です。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	パナソニック株式会社 代表取締役社長 津賀 一宏
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	大阪府門真市大字門真1006番地

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・弊社は、2005年6月より本事業を開始し、主に自社グループの工場やオフィスビルへの電力供給を行っています。 ・都内への電力供給開始は、2008年4月です。 ・また、2016年1月には小売電気事業者の登録を完了しました。(登録番号A0136)

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	グローバル調達社 原材料トレーディングセンター 銅・アルミ・エネルギー部 エネルギー課	
	連絡先	電話番号	06-6937-7520
		ファクシミリ番号	06-6937-7229
		電子メールアドレス	citd.gm-jepx@gg.jp.panasonic.com
公表の 担当部署	名称	グローバル調達社 原材料トレーディングセンター 銅・アルミ・エネルギー部 エネルギー課	
	連絡先	電話番号	06-6937-7520
		ファクシミリ番号	06-6937-7229
		電子メールアドレス	citd.gm-jepx@gg.jp.panasonic.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署へ問合せ			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量 (単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	4	4

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況 (単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.422	0.379	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.376	0.360	
調整後CO ₂ 排出係数	0.408	0.423	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

<ul style="list-style-type: none"> 他の化石燃料に比べて環境負荷の低い天然ガス発電所から主な電力を調達し、東京電力管内の電力供給に充当しました。 また、太陽光発電所からの電力買取を拡大し、再生可能エネルギー由来の電力が増加しました。 これらにより、前々年度0.422から前年度0.382に約9%原単位が向上しました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	91	0.98%	952	9.06%
(FIT電気)	—	—	952	9.06%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現時点では、自社発電所として再生可能エネルギーによる発電はありませんが、低圧および高圧の太陽光発電所からの調達を拡大しました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーで発電された電力の調達を検討していきます。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・自社火力発電設備なし

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・各月の電気料金請求時に、電気使用実績のうちの昼間電力量を明記し、電力需給バランスを意識したエネルギー管理の一助としてお知らせしています。
- ・環境省や経済産業省、また東京都の環境関連政策に関する情報収集に努め、需要家に提供していきます。
- ・弊社太陽光発電システムを需要者にも提案していきます。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・京都メカニズムの活用について調査、検討を行っていきます。
- ・必要に応じ、京都メカニズム活用およびCO2クレジット獲得を検討していきます。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社バルシステム電力 代表取締役社長 林 一雄
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都新宿区大久保2-3-4 新宿出光ビル3階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年3月1日付けで、(株)うなかみの大地から会社分割によって事業を継承しました。 ・生活協同組合であるバルシステムグループの需要家(店舗・配送センター等)へ電力小売事業を展開しております。 ・10月より低圧部門(バルシステムの会員生協組合員)の小売も開始しました。 ・弊社の100%子会社にて、太陽光の発電事業(4基・計1,563kW)を展開しています。 ・電源に関しては、脱原発の立場で、地域社会の経済にも有益になるような再生可能エネルギー(太陽光、小水力、バイオマス等)を調達し、拡大を図ります。再生可能エネルギーによる持続可能な社会を目指しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	新電力事業部	
	連絡先	電話番号	03-6233-9274
		ファクシミリ番号	03-3200-6135
		電子メールアドレス	shindenryoku@pal.or.jp
公表の 担当部署	名称	同上	
	連絡先	電話番号	同上
		ファクシミリ番号	同上
		電子メールアドレス	同上

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署への問い合わせ			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1	1

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.099	0.079	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.006	0.002	
調整後CO ₂ 排出係数	0.738	0.476	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

太陽光、小水力、バイオマス等の再生可能エネルギーにより発電した電力に特化して調達を進めています。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	5,633	87.34%	5,144	77.11%
(FIT電気)	—	—	5,144	77.11%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

弊社の100%子会社にて、太陽光の発電事業(4基・計1,563kW)を展開しており、他社所有の発電所も含め、FIT電気(再生可能エネルギー)を4,406.4kWh調達しています。
●内訳
バイオマス:2,567kw
太陽光 :1167.4kw
小水力 :672kw

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	1,150	17.24%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

該当なし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

該当なし

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

請求書にCO2排出係数を表示するなど、地球温暖化対策推進のための情報提供をします。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・夏はクールビズ、冬はウォームビズを採用しており、定着しております。
- ・不要時のパソコン電源のOFF等節電に努めており、定着しております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社V-Power 代表取締役 小室 正則
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都品川区東品川3-6-5

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・小売電気事業 弊社は、オフィスビルといった大口需要家など電力自由化対象事業所への小売を目的とした発電事業を実施します。</p> <p>・発電事業 小売電気事業実施のために、親会社「株式会社バイテックホールディングス」にて、メガソーラー発電所を所有しております。バイオマス、水力といった再生可能エネルギーについても開発を検討中。 関係会社「株式会社おおたローカルエナジー」にて、ガスエンジンを所有しており、需給逼迫時等に(需要の増減あるいは自然エネルギーの増減に対し)活用しております。</p> <p>・その他 地域小売電気提案をはじめ自治体のエネルギー地産地消サポートをすすめてまいります。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	株式会社V-Power	
	連絡先	電話番号	03-3458-4745
		ファクシミリ番号	03-5479-1535
		電子メールアドレス	vp.center@v-power.co.jp
公表の 担当部署	名称	株式会社V-Power	
	連絡先	電話番号	03-3458-4745
		ファクシミリ番号	03-5479-1535
		電子メールアドレス	vp.center@v-power.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	問い合わせがあれば提示致します。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.264	0.246	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.413	0.467	
調整後CO ₂ 排出係数	0.573	0.597	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・太陽光発電所からの受電を主として、全電源のCO₂排出係数は削減目標を達成しました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	476	57.51%	1,310	68.71%
(FIT電気)	—	—	1,310	68.71%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・再生可能エネルギーの弊社買取量(全国)は32,498千kWhになり、弊社利用量は1,310千kWhになります。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・未利用エネルギーによる発電した電気の購入はありませんでした。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

子会社「株式会社おたローカルエナジー」にて、ガスエンジン(×3)を所有しており、稼動の際には定格出力に近い出力を維持させることで、熱効率の向上を図る。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・弊社親会社の株式会社バイテックホールディングスでは、都内の顧客に対し、省エネ製品の情報提供を行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・弊社親会社の株式会社バイテックホールディングスでは、ISO14001を維持しており、「全社員の力で地球温暖化を防ごう」のスローガンのもと、CO2排出量の削減を実施中。
具体的には、電気代の削減・廃棄物の削減や、社有車の保有台数を削減し、ガソリンの使用量を減らすなど行っております。毎年削減結果を社員に対し公表し、更なる地球温暖化防止に向かって社員が一丸となって取り組んでおります。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	プレミアムグリーンパワー株式会社 代表取締役 八田 幹人
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区丸の内三丁目1番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>■電力小売事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社は、工場や業務用施設・オフィスビルなどといった事業者への電力小売事業を実施しています。 ・2010年4月より事業を開始しました。 <p>■発電事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親会社である出光興産(株)が、再生可能エネルギーを利用した発電事業を行っています。 <ul style="list-style-type: none"> ・風力発電事業者である二又風力開発(株)へ出資しています。 ・門司、姫路、小名浜に太陽光発電所を建設し、運転しています。 ・土佐グリーンパワー(株)に出資し、バイオマス発電所を建設して、2015年4月より運転開始致しました。 ・福井グリーンパワー(株)に出資し、バイオマス発電所を建設して、2016年4月より運転開始致しました。 ・当社は、二又風力開発(株)および土佐グリーンパワー(株)、福井グリーンパワー(株)、出光興産(株)太陽光発電所からの電力を調達しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	出光グリーンパワー株式会社 管理部 ※プレミアムグリーンパワー(株)の業務委託先	
	連絡先	電話番号	03-3213-9397
		ファクシミリ番号	03-3213-3654
		電子メールアドレス	igp@idemitsu.com
公表の 担当部署	名称	出光グリーンパワー株式会社 管理部 ※プレミアムグリーンパワー(株)の業務委託先	
	連絡先	電話番号	03-3213-9397
		ファクシミリ番号	03-3213-3654
		電子メールアドレス	igp@idemitsu.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署に問合せ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.17	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.007	0.012	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.001	
調整後CO ₂ 排出係数	0.261	0.303	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

調達した電力のほぼ全量を、風力・バイオマスなどの再生可能エネルギーを利用して発電した電力、および未利用エネルギー等を利用して発電した電力とし、排出係数が極めて低い電力の供給を行いました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	12,269	53.43%	18,952	79.12%
(FIT電気)	—	—	17,820	74.39%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・下記の通り、親会社である出光興産(株)の再生可能エネルギー発電所から電力を調達しました。
[風力] 二又風力開発(株)、[バイオマス] 土佐グリーンパワー(株)
[太陽光] 出光興産(株)姫路、門司第一・第二、小名浜発電所
・2015年度新たに、土佐グリーンパワー(株)、(株)グリーンエナジー北陸、(株)クリーンエナジー奈良、いぶきグリーンエナジー(株)(いずれもバイオマス)から電力調達を開始しました。
・2016年度においても既に福井グリーンパワー(株)からの調達を開始しています。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
11,479	47.88%	4,714	19.68%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

清掃工場でのごみ処理に伴い発生する熱を利用した発電による電力を積極的に調達しました。再生可能エネルギーを優先的に供給したため、利用量及び利用率はともに低下しました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

- ・自社では火力発電所を保有しておりませんが、親会社である出光興産(株)が運転に関わる火力発電所については以下の通りです。
 - ・未利用木材専焼の木質バイオマス発電所である土佐グリーンパワー(株)においては、未利用材を効率よく安定的に燃焼させるべく改善に取り組んでいます。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・国や東京都の環境政策に関する情報収集に努めています。
- ・需要家訪問時に、政策の動向や制度について説明を行っています。
- ・お客さまが電力の使用状況を確認し省エネへの取組に活用できるように、専用サイトによる情報サービス(出光グリーンネット)を提供しています。
- ・電気事業低炭素社会協議会に加入して、電力業界の一員として実効性のある地球温暖化対策を推進しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

親会社の出光興産株式会社では、毎年「出光レポート」にて出光グループの環境への取組を具体的に報告しています。

また、身近な活動例としては以下を実施しています。

- ・夏はクールビズ、冬はウォームビズを実施しています。
- ・オフィスの空調は、夏29℃、冬20℃の設定とし、省エネを図っています。
- ・昼休み時の消灯、不要時のパソコン電源OFF等節電に努めています。
- ・印刷物は両面印刷・縮小印刷を基本とし、紙の節約による森林資源の保護を推進しています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社バイサイドエナジー 代表取締役 森田 健次
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都中央区銀座六丁目15番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・発電事業 千葉県市原市にガス火力発電所(10.8万kW)を保有・運営し、小売電気事業者等へ電力を供給しています。 ・小売電気事業 2013年10月より、自社発電所等の電力を活用し、東京電力エリアで小売事業を行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	総務担当	
	連絡先	電話番号	03-5565-4446
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	bse@bayside.co.jp
公表の 担当部署	名称	総務担当	
	連絡先	電話番号	03-5565-4446
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	bse@bayside.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日 ~ 2017年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	株式会社ベイサイドエナジー本店
		所在地:	東京都中央区銀座六丁目15番1号
		閲覧可能時間	9:30-17:00
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
		入手方法:	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	お問合せ頂ければメール・FAX等に対応致します。	

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	11	11

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.569	0.494	100%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.422	0.404	
調整後CO ₂ 排出係数	0.549	0.500	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

自社のガス火力発電所(千葉県市原市)は、コンバインドサイクル方式を採用しており、高い効率を実現しています。ガスタービン(空気圧縮機部)の洗浄による効率の維持、補機の運用方法見直しによる所内動力の削減(効率向上)に取り組みました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

実績はございません。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

実績はございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社のガス火力発電所(千葉県市原市)は、コンバインドサイクル方式を採用しており、高い効率を実現しています。ガスタービン(空気圧縮機部)の洗浄による効率の維持、補機の運用方法見直しによる所内動力の削減(効率向上)に取り組みました。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

問い合わせのあった需要家に対して、詳細な電力使用量データやCO2排出係数の情報提供を行っています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社発電所におけるエネルギー使用を抑制するため、不要な照明・空調をこまめに消し、空調の温度設定を省エネ推奨温度にするなどの施策を進めています。

また、社有車としてリースしている車をエコカーにしています。

その他、環境教育として「省エネ」、「地球温暖化防止」に関する環境学習DVDにより、発電所員に対して啓発活動を行っています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	本田技研工業株式会社 代表取締役 社長執行役員 八郷 隆弘
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都港区南青山2丁目1-1

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>◆特定規模電気事業 2014年度より、都内の需要家に対して特定規模電気事業開始。 まずは、当社内オフィスビル等に対して電力供給しています。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	ビジネス開発統括部 スマートコミュニティ企画室	
	連絡先	電話番号	03-5412-1165
		ファクシミリ番号	03-5412-1502
		電子メールアドレス	
公表の 担当部署	名称	ビジネス開発統括部 スマートコミュニティ企画室	
	連絡先	電話番号	03-5412-1165
		ファクシミリ番号	03-5412-1502
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署に問い合わせ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1	2

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.467	0.469	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.511	0.477	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

CO2排出係数の低い発電所から電力調達を推進

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	202	10.87%	228	6.75%
(FIT電気)	-	-	228	6.75%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

太陽光発電所の積極利用の推進

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	0.00%	-	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

実績はありません

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社内で所有する火力発電所はありません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

当社の都内需要家に対して、電力使用状況を公開し、把握できるしくみを構築。。
グループ会社等への電力供給も視野に入れて検討を推進。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

それぞれの電力供給先拠点へ省エネ施策のノウハウを支援等、電力への理解促進を図る

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	丸紅新電力株式会社 代表取締役 西山 大輔
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区大手町一丁目4番2号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・PPS事業 電力自由化対象のうち、主に業務用需要家(オフィスビル等)への電力小売事業を実施しています。「川崎クリーンパワー発電所」「中袖クリーンパワー発電所」を保有しており、当該発電所にて発電した電力と共に自家発電事業者より購入した電力を都内の需要家に対し電力供給を行っております。尚、長野県等において水力発電所(100%出資子会社)を別途保有しております。</p> <p>・風力発電事業 風力発電事業会社を国内1箇所保有し、発電出力合計約20,000kWの風力発電所を運用しております。尚、発電した電力は地域一般電気事業へ卸売しております。また、現在、着床式並びに浮体式の洋上風力事業に参画しており、着床式は約250,000kWの風力発電所を建設予定、浮体式は経済産業省の実証実験事業のコンソーシアムリーダーとして事業を継続推進中であります。</p> <p>・太陽光発電事業 太陽光発電事業会社を国内9箇所保有し、「大分ソーラーパワー」および「木曾岬メガソーラー」等大規模太陽光が既に商業運転開始しています。またその他、全国各地にて太陽光発電所の建設を継続して予定しております。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	丸紅新電力株式会社 事業部	
	連絡先	電話番号	03-3282-2602
		ファクシミリ番号	03-3282-3309
		電子メールアドレス	
公表の 担当部署	名称	丸紅新電力株式会社 事業部	
	連絡先	電話番号	03-3282-2602
		ファクシミリ番号	03-3282-3309
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	問合せがあった際に報告書を提出します。			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	268	191

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.505	0.413	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.345	0.327	
調整後CO ₂ 排出係数	0.554	0.437	
			100%

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

各発電所よりの温暖効果ガス排出量の把握に努め把握率を100%としております。2015年度は再生可能エネルギーからの買取量を増やすことで、排出係数の上昇を抑えております。今年度においても、引き続き排出係数の低い発電源からの電力の調達を目指す予定でございます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	57,005	10.75%	53,927	11.64%
(FIT電気)	—	—	50,948	11.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

東京電力管内においては、当社100%出資の子会社である三峰川電力(株)が茨城県潮来市、静岡県小山町にて建設を進めて参りました、2箇所の太陽光発電所(出力:約4,000kW)の運転を開始し、再生可能エネルギー電源からの買取を更に増加させております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
14,167	2.28%	20,989	4.53%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

引き続き清掃工場からの未利用エネルギー等による電力の調達に努めております。
今後も未利用エネルギーの利用促進を進めていく所存です。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

2008年度より保有・運転開始となった川崎クリーンパワー発電所においては、高効率ガスエンジンを導入することで、熱効率の高い発電を実施しております。
また、中軸クリーンパワー発電所においては、コンバインドサイクル発電機を導入することで、従来のシンプルサイクルに比べ、熱効率の高い発電を実施しております。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- お客様の省エネ計画に役立てていただくよう、電気の使用状況をお知らせしております。
- 弊社のCO2排出係数をお知らせし、各々のお客様がご自身のCO2の排出量を把握できるようにしております。
- お客様に対して、グリーン電力証書やRPS等の環境付加価値の提供のための提案を行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

温暖化対策ビジネスとして下記事業を推進しております。

- ・風力発電事業：国内では1箇所（合計出力：約20,000kW）、海外では10箇所（合計出力：約1,500MW）を手掛けており、また今後も風力発電事業を展開していく方針です。
- ・小水力開発事業：当社100%出資の子会社である三峰川電力(株)において、小水力発電事業を推進しており、既存の水資源の有効利用や、遊休施設の再生等を行うことでCO2フリーの新規電源開発を行っております。
- ・グリーンエネルギー認証センターにグリーン電力証書の申請事業者としての登録を行い、グリーン電力証書設備認定を取得しております。またグリーン電力証書の普及促進を目指し、証書の発行・販売を行うと共に、自社の株主総会の使用電力の一部をグリーン電力でまかなっております。
- ・太陽光発電事業：太陽光発電事業会社を国内9箇所保有し、「大分ソーラーパワー」および「木曾岬メガソーラー」等大規模太陽光が既に商業運転開始しています。またその他、全国各地にて太陽光発電所の建設を継続して予定しております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	ミサワホーム株式会社 代表取締役 竹中 宣雄
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都新宿区西新宿2-4-1

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>■小売電気事業 工場・オフィスビル等の大口需要家向けに電力供給を行っています。 2016年4月からは、低圧電力小売自由化に合わせ、北海道電力、東北電力、東京電力、中部電力、北陸電力、関西電力、中国電力、四国電力、九州電力エリアでの販売を開始し、6月から電力供給を開始しました。</p> <p>■発電事業 全国7ヶ所で自社所有の太陽光発電所を稼働しています。</p> <p>■その他 お客様の省エネルギー対策をサポートするため、省エネ提案をしています。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	生産統括部 生産統括課	
	連絡先	電話番号	03-6316-3512
		ファクシミリ番号	03-5909-1677
		電子メールアドレス	seisan_toukatsu@home.misawa.co.jp
公表の 担当部署	名称	生産統括部 生産統括課	
	連絡先	電話番号	03-6316-3512
		ファクシミリ番号	03-5909-1677
		電子メールアドレス	seisan_toukatsu@home.misawa.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署に問い合わせ			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率	
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.530		56%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-		
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.496		

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

■取組み実績はありません。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

■取組み実績はありません。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

■ 子会社テクノエフアンドシー株式会社において、工場加工時に算出される木材の端材やチップを利用して、工場生産ラインを稼動しています。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

■ 自社で保有する火力発電所はありません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

■ お客様専用ページにて、下記の取り組みを行い、省エネ推進に努めました。

- ① 一日単位の電気使用量をWeb上で閲覧でき、見える化管理が行える仕組みを提供しました。
- ② 電力使用状況を全国のお客様と比較できる仕組みを提供しました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

■ トラック輸送からCO2排出量の少ない鉄道貨物輸送に切り替える「モーダルシフト」を推進しました。

■ 1台のトラックが建材メーカーをめぐる効率的に回収する調達方式や、積載効率を飛躍的に向上させるモジュールパレットの採用などで、建材調達物流の省エネ化を推進しました。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	三井物産株式会社 代表取締役社長 安永 竜夫
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区丸の内1丁目1番3号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>■小売電気事業 弊社は2015年2月より、東京電力管内に於ける電力小売事業を営んでおります。電力については、バイオマス発電、ごみ発電等からの調達を行っております。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	プロジェクト本部/国内プロジェクト開発部/第三営業室	
	連絡先	電話番号	03-3285-4151
		ファクシミリ番号	03-3285-9979
		電子メールアドレス	PPS-RenrakuTKMEG@dg.mitsui.com
公表の 担当部署	名称	プロジェクト本部/国内プロジェクト開発部/第三営業室	
	連絡先	電話番号	03-3285-4151
		ファクシミリ番号	03-3285-9979
		電子メールアドレス	PPS-RenrakuTKMEG@dg.mitsui.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日 ~ 2017年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	
		所在地:	
		閲覧可能時間	
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:		
	入手方法:		
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署により適宜開示する		

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率	
全電源のCO ₂ 排出係数	0.000	0.019		100%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.018		
調整後CO ₂ 排出係数	0.558	0.542		

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

今後も、積極的に再生可能エネルギー、未利用エネルギー等の導入を進め、排出係数の低減に努めて参ります。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	42	100.00%	1,120	100.00%
(FIT電気)	-	-	1,120	100.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

今後も引き続き再生可能エネルギーからの調達を可能な限り進めて参ります。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

昨年度はすべて再生可能エネルギー由来の電力からの調達のため、未利用エネルギーの利用実績はないものの、今後、需要量の変化等に応じて、未利用エネルギーの導入についても検討を進めて参ります。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・当社は火力発電所を保有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・問い合わせのあった需要家の皆様には、電力の使用実績等の情報を開示し、各需要家の省エネルギー化にご活用いただいております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

■ISO14001による環境管理

・当社本店ならびに国内支社支店では1999年にISO14001を取得して以来、認証を維持してきました。主にオフィス活動における「紙・ゴミ・電気の削減」に取り組んでいます。2012、13年度は役職員の環境意識の向上を環境目的とし、各店舗が各々の状況に応じた目標管理を実施して成果を挙げることで、環境目的を達成しました。

■その他環境関連ビジネス

その他、当社では、国内外における植林事業、資源リサイクル事業その他の環境関連ビジネスを通して、地球温暖化対策に取り組んでおります。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	ミツウロコグリーンエネルギー株式会社 代表取締役社長 二見 敦
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都中央区日本橋本町3-7-2

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none">・発電及び売電事業 風力発電、バイオマス発電及びメガソーラー発電等の新エネルギーによる発電・小売電気事業 小売電気事業者への電力卸売りと、需要家への小売供給

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	電力業務部	
	連絡先	電話番号	03-3665-6311
		ファクシミリ番号	03-5695-1140
		電子メールアドレス	mge-pps@mitsuuroko.co.jp
公表の 担当部署	名称	同上	
	連絡先	電話番号	同上
		ファクシミリ番号	同上
		電子メールアドレス	同上

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日 ~ 2017年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	ミツウロコグリーンエネルギー事務所
		所在地:	中央区日本橋本町3-7-2
		閲覧可能時間	8:30~17:30
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
	入手方法:		
<input type="checkbox"/> その他			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量 (単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	33	31

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況 (単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.433	0.389	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.384	0.360	
調整後CO ₂ 排出係数	0.514	0.414	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

バイオマス発電所及びごみ処理発電所、太陽光発電所による再生可能エネルギーの利用を促進しております。
今後も再生可能エネルギー発電所との契約を進め環境負荷の低い電力調達に努めます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	9,008	11.83%	9,581	12.20%
(FIT電気)	—	—	9,581	12.20%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

東京電力管内において自社の出資する潮来(14MW)、富津(40MW)の大型太陽光発電所を所有しており
小売電気事業に使用しております。
また、他社出資の5箇所の大型太陽光発電所から電力を受電しております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	2,317	2.95%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

清掃工場の入札に積極的に参加いたしました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

東京電力管内において供給する自社火力発電所を所有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

都内の再生可能エネルギー発電所の入札を検討しております。また、エネルギーの見える化を推進し、需要家がリアルタイムで電力の使用状況を把握できるシステムを導入しております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギー供給事業者として、再生可能エネルギーによる電力の調達を増やし発電所の建設も積極的に推進していきます。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社みらい電力 代表取締役 河崎 慎吾
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	愛知県名古屋市中区則武新町四丁目3番12号 NRSさくまビル5階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none">・小売電気事業 法人と官公庁への電力供給をバランスよく行い、再生可能エネルギーを電源の主体として運用している。・その他 電力の見える化サービスとして、30分ごとの使用電力量をお客様が確認することのできるサービスを提供している。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	管理運用部	
	連絡先	電話番号	052-756-2331
		ファクシミリ番号	052-756-2335
		電子メールアドレス	info@miraiden.jp
公表の 担当部署	名称	管理運用部	
	連絡先	電話番号	052-756-2331
		ファクシミリ番号	052-756-2335
		電子メールアドレス	info@miraiden.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日 ~ 2017年07月31日		
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	http://miraiden.jp/
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	
		所在地:	
		閲覧可能時間	
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
		入手方法:	
	<input type="checkbox"/> その他		

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0	1

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.306	0.355	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.445	0.497	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

太陽光発電を主力とした再生可能エネルギーを電源の主体としていくことで削減を図っている段階です。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	355	43.79%	795	34.46%
(FIT電気)	-	-	795	34.46%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

太陽光発電設置の営業活動や設置から発電をサポートしている。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーを活用した発電所を利用していないため無し。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

同上

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

お客様用webサービスにより、使用電力量の見える化を図っている。
見える化を図ることにより、お客様の電力使用量について意識をしていただく。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

省エネ設備への切り替えを推進している。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	みんな電力株式会社 代表取締役 大石 英司
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都世田谷区池尻2-4-5世田谷ものづくり学校210

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>自社電源としては太陽光発電所(39.6kw・東京都世田谷区上祖師谷1-24-1)を1基保有。 2016年2月18日に接続済み。全量自社小売に使用中。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	需給管理部	
	連絡先	電話番号	03-6805-2228
		ファクシミリ番号	03-6805-4449
		電子メールアドレス	powertrader@minden.co.jp
公表の 担当部署	名称	需給管理部	
	連絡先	電話番号	03-6805-2228
		ファクシミリ番号	03-6805-4449
		電子メールアドレス	powertrader@minden.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年09月01日 ~ 2017年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	みんな電力株式会社
		所在地:	東京都世田谷区池尻2-4-5世田谷ものづくり学校210
		閲覧可能時間	10:00-18:00
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
	入手方法:		
<input type="checkbox"/> その他			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	—	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	—	0.361	100%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	—	—	
調整後CO ₂ 排出係数	—	0.333	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

再生可能エネルギー(特に太陽光)を積極的に購入し、自社小売分に充当する。 月次では55%程度の充当率を維持。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	—	—	18	30.00%
(FIT電気)	—	—	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギー(特に太陽光)を積極的に購入し、自社小売分に充当する。 2016年度においては月次では55%程度の充当率を維持。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
—	—	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現時点未計画。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

特になし。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

弊社オフィス内のイベントスペース等で市民団体等と共同でイベントやワークショップを開催。
市民の意識レベルの啓蒙などに努めている。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特になし。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	リエスパワー株式会社 代表取締役 青木 博幸
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都豊島区東池袋四丁目21番地1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・小売電気事業 弊社は、2012年12月から、工場、ロードサイド店舗、事務所等へ電力小売を行っております。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	業務部	
	連絡先	電話番号	03-6844-3500
		ファクシミリ番号	03-5960-1741
		電子メールアドレス	gyoumu@les.co.jp
公表の 担当部署	名称	業務部	
	連絡先	電話番号	03-6844-3500
		ファクシミリ番号	03-5960-1741
		電子メールアドレス	gyoumu@les.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署(業務部)に問い合わせ。			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.559	0.314	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.367	0.404	
調整後CO ₂ 排出係数	0.537	0.376	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

- ・2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量につき、前々年度の弊社排出量は「0.13(千t-CO₂)」、前年度の排出量は「0.15(千t-CO₂)」となります。
- ・再生可能エネルギーで発電された電力の購入を実施し、削減目標を達成した。
- ・国の温対法に基づく報告においては、排出権クレジットの償却を実施したことにより調整後排出係数を昨年に引き続き「0」とした。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量(千kWh)	利用率(%)	利用量(千kWh)	利用率(%)
再生可能エネルギー	10	4.79%	205	42.52%
(FIT電気)	—	—	190	39.29%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・再生可能エネルギーで発電された電力の調達を開始致しました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・未利用エネルギーによる発電した電気の購入はありませんでした。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

- ・火力発電所の所有が無い為、熱効率向上の措置の計画はありません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・需要家への電力使用実績の提供を行い節電対策の協力を実施。
- ・国の温対法に基づく報告において調整後排出係数「0」を維持、環境付加価値の高い電力を積極的なPRを実施しております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・再生可能エネルギー等で発電された電力の購入に向けた営業活動を実施しております。
- ・自社所有車のエコカー使用の継続
- ・社内におけるクールビズ、省エネ対策の実施の継続

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社リミックスポイント 代表取締役 國重 惇史
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都目黒区東山1-5-4 KDX中目黒ビル2階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none">・電力の小売事業・省エネ関連事業 <p>「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」におけるエネマネ事業者として当該補助金事業に係わる支援や、EMS、LED等の省エネ機器設備の導入を通じてエネルギー使用量を削減するとともに、主に高圧・特別高圧需要家向けに安価な電力を提供することで、総合的にお客様のエネルギーコスト抑制とCo2排出削減の実現をサポートしています。</p> <p>エネルギー全般に関わるソリューション提案を専門コンサルタントとして、お客様のニーズ(目的・手段・計画・予算)にあわせたワンストップソリューションの提案を実施しています。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	電力事業部	
	連絡先	電話番号	03-6303-0328
		ファクシミリ番号	03-6303-0293
		電子メールアドレス	energy@remixpoint.co.jp
公表の 担当部署	名称	電力事業部	
	連絡先	電話番号	03-6303-0328
		ファクシミリ番号	03-6303-0293
		電子メールアドレス	energy@remixpoint.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日 ~ 2017年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	
		所在地:	
		閲覧可能時間	
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:		
	入手方法:		
<input checked="" type="checkbox"/> その他	問い合わせがあれば対応いたします。		

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.502	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.473	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

<p>・再生可能エネルギーによる発電からの調達を検討中です。</p>

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

<p>・再生可能エネルギーによる発電からの調達を検討中です。</p>

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・実施はございませんでした。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・火力発電所を保有していないため、熱効率の向上に係る処置は未実施です。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・お客様自らの使用電力量をWEB上で確認できるシステムを開発に着手しました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・社用車としてハイブリッド車、水素自動車を利用しています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	緑新電力株式会社
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都港南青山4-24-8 アットホームスクエア3階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	東京/中部/関西管内にて高圧の需要者を対象に電気の供給を行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	需給管理部	
	連絡先	電話番号	03-4405-9644
		ファクシミリ番号	03-4405-9645
		電子メールアドレス	contact@ryokushin.energy
公表の 担当部署	名称	需給管理部	
	連絡先	電話番号	03-4405-9644
		ファクシミリ番号	03-4405-9645
		電子メールアドレス	contact@ryokushin.energy

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2015年08月01日		～	2016年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	お客様のお問合せ時に個別に対応いたします。			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.502	100%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.473	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

今後の方針として、自社電源に太陽光電源の調達を視野に入れております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

太陽光の電源開発を担当する従業員の育成をしております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現状、対応している未利用エネルギーの発電所はございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

現在、弊社にて対応する火力発電所を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

発電施設を持たない事業者として、少しでも電源の負担を減らすべく余剰インバランスの削減を徹底します。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特にごさいません。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社Loop
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都文京区本郷4-1-4 ユニゾ本郷四丁目ビル

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電所システムの開発・販売・設置・工事・管理・メンテナンス ・自社太陽光発電所の設置・管理 ・独立型太陽光発電システムと周辺機器のインターネット販売 ・自然エネルギーを使用した商品の企画・開発・販売 ・損害保険代理店事業 【取扱保険会社】三井住友海上火災保険株式会社 ・電力小売事業 ・電力小売事業に関わる各種業務委託業

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	電力事業本部 電力小売運用部 電力小売支援課	
	連絡先	電話番号	03-6858-0108
		ファクシミリ番号	03-6858-0050
		電子メールアドレス	pps_shien@loop.co.jp
公表の 担当部署	名称	電力事業本部 電力小売運用部 電力小売支援課	
	連絡先	電話番号	03-6858-0108
		ファクシミリ番号	03-6858-0050
		電子メールアドレス	pps_shien@loop.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	https://loop.co.jp/		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
		入手方法:			
	<input type="checkbox"/> その他				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	1

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.353	100%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.530	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

他社所有の太陽光発電所から電力調達を行うことで再生可能エネルギーを確保している

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	462	31.01%
(FIT電気)	-	-	462	31.01%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

自社太陽光発電所からの電力調達は行っていないが、他社所有の発電所から再生可能エネルギーの調達を行っている(2016年3月時点)

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社で保有する火力発電所はない

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

■ 低圧電力供給の料金プランにて基本料金を0にし完全従量制を採用することで、一般需要家に対して省エネ意識を醸成している

■ 家庭向け太陽光発電システムの販売にてFIT価格よりも高い余剰買取プランを提示することでシステムの導入を促し、再生可能エネルギーの普及を促進している

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特になし

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	ワタミファーム&エナジー株式会社 代表取締役 小出 浩平
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都大田区羽田一丁目1番3号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>ワタミファーム&エナジー株式会社は、ワタミグループの100%子会社であり、以下の3つの事業を行っています。</p> <p>1. 再生可能エネルギー事業 風力発電・太陽光設備の開発・運転管理、その他再生可能エネルギーの開発等。自グループ関連SPCで、風車1～3号機(秋田県)、ルーフソーラー5拠点メガソーラー2プロジェクト(北海道厚真町15MW, むかわ町19MW)に関わってきました。</p> <p>2. 小売電気事業 食品工場、店舗、学校、オフィスビル等への電力の供給。弊社は、需要家PPSとして省エネに取り組んで参りました。グループの外食店舗で「電力の見える化システム」を2004年7月～約300店舗に導入し、運用改善や設備改善に活用してきました。その後、需要家PPSとして調達改善により、再生可能エネルギーの普及や持続可能なエネルギーの選択ができると考え、現在はグループ外の需要家にも供給しています。</p> <p>3. 地域事業 食品リサイクル、リユースなどの資源循環、森林再生、地域ブランド品開発等。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	エナジー事業本部 電力事業ユニット	
	連絡先	電話番号	03-5737-7104
		ファクシミリ番号	03-5735-6636
		電子メールアドレス	wepps@watami.net
公表の 担当部署	名称	エナジー事業本部 電力事業ユニット	
	連絡先	電話番号	03-5737-7104
		ファクシミリ番号	03-5735-6636
		電子メールアドレス	wepps@watami.net

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署へお問合せ下さい。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1	4

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.527	0.501	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	—	—	
調整後CO ₂ 排出係数	0.518	0.474	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

前年度は、JEPXと常時バックアップが主要な仕入先であったため、温室効果ガス削減のために意識的な取組が出来ませんでしたが、本年度は再エネの買取もあり今後実績を出していけるよう努めて参ります。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	21	1.88%	13	0.15%
(FIT電気)	—	—	13	0.15%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

ワタミグループ関連のSPCにより開発したルーフソーラー5拠点の電源接続を行いました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
—	0.00%	—	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

今期においては、開発の実績はございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所はございません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

1. ワタミグループの環境活動の推進をしてきた経験より、「見える化」データによる省エネ提案をサービスしています。
2. 低圧の一般家庭向け電力では、電力使用データを用いたEメール配信サービス「でんきのレビュー」を利用していただくことができます。本サービスでは、日々の電力使用量を確認していただき、省エネの意識を高めていただくことにより、電力使用量の低減の実現にに伴うCO2排出量の抑制に働きかけています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

2014年より、大分県臼杵市との間で、「水源涵養森林づくり」の協力に関する共同宣言を調印し、森林事業を行っております。

また、社内では、下記により省エネに取り組んでおります。

- ・ 5月～10月のクールビズの実施による、空調に使用する電力の低減。
- ・ キャンプスイッチを用いた、不必要照明の消灯による消費電力の削減。